

令和6年度

教育委員会の事務の点検及び評価  
に関する報告書

— 令和5年度の実績 —

五戸町教育委員会



# ま え が き

五戸町教育委員会では、町の行政運営の基本方針である「第2次五戸町総合振興計画」に沿って、教育に関わる施策を推進しているところです。

この振興計画に基づき、町教育委員会では、「教育は人づくり」という視点に立ち、「五戸の未来を創造する人と文化を育むまち」を目指し、様々な取り組みを進めています。

本報告書は、このような町教育委員会の取り組みについて、外部の学識経験者などから意見を伺いながら点検及び評価を実施し、その結果を取りまとめたもので、今後の効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすことを目的に作成しました。

町民の皆様には、この報告書によりまして本町の教育行政について、ご理解を深めていただきますようお願いいたします。

令和6年10月

五戸町教育委員会

## 目 次

点検及び評価の実施について	1
点検・評価対象事業一覧	2
施策4-1 幼児・学校教育	3
施策4-2 生涯学習	23
施策4-3 スポーツ・レクリエーション	34
施策4-4 地域文化	41
参考資料	46

## 点検及び評価の実施について

### 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運用に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この法律を受け、五戸町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) 自己点検・評価

町教育委員会では、平成27年11月に策定した令和6年度までの「第2次五戸町総合振興計画」に沿って、教育に関わる施策を推進しております。その施策を推進するための主な事業について点検し、教育委員会自ら評価し、課題等を洗い出しました。

#### (2) 点検・評価の対象

教育委員会の事務事業を総合振興計画の施策ごとに区分し、その施策を推進するための事業を対象としました。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者を「点検・評価助言委員」として委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容について意見をいただき、これを参考に点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は、振興計画により4つに分類しそれぞれに施策を立て、各施策に対する取り組む事業ごとに記載しています。

#### (2) 取組事業の点検

施策を推進するための具体的な取組状況について、主な事業を取り上げ、その事業が適切に実施されているかどうか、その事業の概要・計画・実績を点検結果として記載しています。

#### (3) 取組事業の評価（点検を踏まえた評価）

各取組事業について、各取組状況の点検結果及び実績を踏まえ、その成果と課題を評価しています。

#### (4) 施策の総括的評価

各施策について、各取組事業の評価結果を踏まえ、総括的に評価しています。

#### (5) 点検・評価助言委員の意見

上記について、点検・評価助言委員からの意見を載せています。

点検・評価対象事業一覧

五戸町総合振興計画			主 な 事 業		
第4章 五戸の未来を創造する人と文化を育むまち（教育・文化分野）	施策4-1 幼児・学校教育	1	幼児教育の充実	1	幼児教育相談・就学相談事業
		2	学校教育の充実	2	学校施設維持管理事業
				3	特別支援教育支援員配置事業
				4	語学指導外国青年招致事業
				5	奨学資金貸付事業
				6	コミュニティバス通学対応便事業
				7	GIGAスクール構想推進事業
				8	海外研修支援事業
				9	教育支援委員会事業
				10	教職員の働き方改革に係る取組
				11	五戸っ子宣言実践事業
		12	学校給食地場産物活用推進事業		
		3	道徳教育の充実	13	学校運営協議会事業
				14	地域学校協働活動支援事業
		4	食育の充実	15	通学合宿事業
	16			放課後子ども教室推進事業	
	5	家庭・地域と連携した学校づくり	-	(各学校実施)	
			-	(各施設実施)	
	施策4-2 生涯学習	1	社会教育関連施設の充実	17	移動図書館事業
				18	町民大学講座事業
				19	公民館講座事業
				20	公民館情報紙発行事業
				21	文化賞・スポーツ賞等事業
				22	町民文化講演会事業
				23	町文化協会支援事業
	2	指導者の育成と団体等の活動支援	24	あいさつ運動事業	
			-	(各種事業実施)	
			25	成人式「二十歳を祝う会」事業	
			26	好きです五戸町ボランティア運動事業	
	3	若い世代が参加しやすい社会教育の実施	27	ボランティア活動支援事業	
			28	スポーツ推進委員事業	
			29	生涯スポーツ振興事業等委託事業	
30			スポーツクラブ育成事業		
施策4-3 スポーツ・レクリエーション	1	多様なスポーツ活動の普及促進	31	スポーツ大会出場祝金事業	
			32	町民運動会事業	
			-	(各種事業所実施)	
			-	(各種事業実施)	
4	指導者の育成・確保	33	スポーツ施設の管理事業		
		34	文化まつり事業		
		35	町文化財管理事業		
		36	伝統芸能継承活動事業		
施策4-4 地域文化の振興	1	保存団体、指導者の育成	37	県重宝「旧圓子家住宅」管理事業	
			38	ごのへ郷土館管理事業	
			39	文化財の活用	

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-1 幼児・学校教育

- 児童・生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、幼児教育や学校教育の教育環境の充実を図ります。
- 安全で安心な子どもの居場所づくりに向けて、みんなで子どもを守り育てる社会環境づくりを進めます。

#### 【4-1-1 幼児教育の充実】

- 1 幼児教育相談・就学相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

#### 【4-1-2 学校教育の充実】

- 2 学校施設維持管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 3 特別支援教育支援員配置事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 4 語学指導外国青年招致事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 5 奨学資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- 6 コミュニティバス通学対応便事業・・・・・・・・ P 8
- 7 GIGAスクール構想推進事業・・・・・・・・ P 9
- 8 海外研修支援事業・・・・・・・・ P 10
- 9 教育支援委員会事業・・・・・・・・ P 11
- 10 教職員の働き方改革に係る取組・・・・・・・・ P 12

#### 【4-1-3 道徳教育の充実】

- 11 五戸っ子宣言実践事業・・・・・・・・ P 13

#### 【4-1-4 食育の充実】

- 12 学校給食地場産物活用推進事業・・・・・・・・ P 14

#### 【4-1-5 家庭・地域と連携した学校づくり】

- 13 学校運営協議会事業・・・・・・・・ P 15
- 14 地域学校協働活動支援事業・・・・・・・・ P 16
- 15 通学合宿事業・・・・・・・・ P 17

#### 【4-1-6 放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進】

- 16 放課後子ども教室推進事業・・・・・・・・ P 18

#### 【4-1-7 子どもの安全確保】

※各学校に委ね実施

- 施策4-1 総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・ P 19

4-1-1 幼児教育の充実

1 幼児教育相談・就学相談事業			
点検	概要	<p>幼児一人一人の望ましい発達を促し、生きる力の基礎を培うことを目的とし、必要に応じて、医療・保健・福祉等機関との連携の下に、専門的な教育相談・就学相談を受けられる体制を確立する。</p>	
	計画	<p>教育相談・就学相談については随時対応し、そのケースに応じて専門機関との連携を図り、本人・保護者に十分な情報を提供する。</p>	<p>実績</p> <p>幼児就学相談12件（教育支援委員会による調査・判定を含む）</p>
評価	成果	<p>町内には、教育委員会管轄の幼稚園（旧制度）等施設は無く、他市町村の幼稚園（旧制度）等通園幼児もいないため、幼児教育の充実にあつては、福祉機関と情報を共有しながら進める必要がある。</p> <p>教育相談・就学相談については、幼児期からの早期の対応が重要であると考えており、主に教育支援委員会との連携により、円滑な就学につながっている。また、五戸地区の幼稚園、認定こども園等の保育教諭を招き、教育支援委員会が開催する研修会を行うなど、幼保小連携事業充実に努めている。</p>	
	課題等	<p>備考</p> <p>次年度新入学児童及び保護者が安心して入学を迎えられるよう、入学前に就学予定小学校の教育活動を見学できる機会を新規事業として設けている。（オープンスクール）</p> <p>発達障がい等の疑いのある幼児への対応や就学先の判断等には、専門的知識が必要となり、令和6年度より臨床発達心理士に依頼をし、検査等を行うことにしている。</p> <p>発達障害等の疑いのある幼児は増加傾向にあり、その対応や就学先の判断等にあつては、確かな専門的知識が必要となる。令和6年度から幼児の発達検査等には専門的知識を有する方に依頼することにしたが、1人だけではなく、専門機関との連携を密にするとともに、対応できる人材（発達障害に関して専門的な知識を持つ方）を複数人確保必要がある。</p>	

4-1-2 学校教育の充実

2 学校施設維持管理事業	
概要	各学校からの要望により学校施設の改修及び修繕を行い、児童生徒が安全に教育を受けられる安全で快適な環境を整える。
	前年度に実施した学校訪問により判明した修繕箇所や、緊急に必要な修繕料を予算措置する。
計画	小学校 【修繕】（5万円以上） 五戸小学校 ・防火シャッター非常用バッテリー交換修繕  切谷内小学校 ・体育館暖房機修繕 ・小荷物昇降機修繕  上市川小学校 ・体育館暖房機修繕 ・体育館高天井ランプ交換修繕  倉石小学校 ・2階男子トイレタイル張替修繕 ・プール機械室扉修繕  【工事】 五戸小学校 ・校庭観覧デッキ木板張替工事 ・体育館照明器具更新工事  切谷内小学校 ・相撲土俵付近フェンス更新工事 ・教員住宅解体工事 ・複式学級照明増設工事  倉石小学校 ・校庭ブランコ更新工事 ・体育館ステージ幕修繕工事 ・体育館照明器具更新工事
	中学校 【修繕】（5万円以上） 川内中学校 ・トイレ漏水修繕 ・体育館入口タイル補修修繕 ・給水管漏水修繕 ・受水槽FMバルブ交換修繕 ・川内中学校防球ネット修繕  【工事】 五戸中学校 ・バスケットボールボード交換工事  川内中学校 ・トイレ洋式化改修工事  倉石中学校 ・トイレ洋式化改修工事 ・体育館暗幕引き紐交換工事 ・体育館放送機器更新工事 ・キュービクル電圧ケーブル等更新工事
点検 実績	
評価	成果 前年の10月頃に教育委員による学校訪問を行い、各学校の要望を把握することで、修繕計画をたて、順次修繕を実施した。
	課題等 五戸小学校以外の校舎の老朽化が進んでおり、今後は大規模改修や学校の統廃合、学校の改築等を検討しなければならない時期になってきている。

3 特別支援教育支援員配置事業			
点検	概要	様々な障害を持つ児童生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動の支援などを行う特別支援教育支援員を必要な学校に配置し、児童生徒の教育の充実を図る。	
	計画	小学校4校、中学校3校、合わせて23人の支援員を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五戸小学校10人 (内2人は生活支援)</li> <li>・切谷内小学校2人</li> <li>・上市川小学校3人</li> <li>・倉石小学校2人</li> <li>・五戸中学校3人</li> <li>・川内中学校4人</li> <li>・倉石中学校2人</li> </ul> 計26人の支援員を配置した。
評価	成果	特別支援教育支援員を必要とする学校に配置することにより、教員の負担を軽減し円滑な学級運営の一助となっている。児童生徒の発達の段階や障害の状況に対応した支援を行い、障害による困難を克服するための教育を行うことができた。なお、令和2年度からは五戸小学校に肢体不自由の児童が入学したため、生活支援を主とした生活支援員を1名増員している。	
	課題等	発達障害等のある児童生徒が増加傾向にあるなか、概ね人材確保できているものの、欠員が出た場合の補充や新たな支援員増員の要望が出た場合の対応が難しい現状である。 また、各学校教職員と支援員との連携が不足している学校が見受けられたため、連携強化をしていく必要がある。 会計年度任用職員制度となったことにより支援員の雇用事務を総務課と連携し円滑に行っていく必要がある。	

4 語学指導外国青年招致事業			
点検	概要	<p>国の語学指導外国青年招致事業（JETプログラム）を活用して、語学指導助手（ALT）となる外国青年を招致し、小・中学校で英語授業の補助をしてもらうことで英語教育の充実を図る。また、国際理解教育の補助をすることで諸外国との相互理解を増進する。</p>	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数 3人</li> <li>・配置校 7校</li> <li>・学校教育以外での英語指導の実施（ボランティア）</li> </ul>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数 3人</li> <li>・配置校 7校（全小中学校）</li> <li>・町内小中学校での授業のほか、町内幼稚園・保育園へ訪問し、ふれあいを通して外国の文化や言葉に対する子どもたちの興味関心を広めた。また、公民館講座で地域住民へ「楽しみながら英語を身に付けて会話ができる！！」ことを目的として英語普及をした。</li> </ul>
評価	成果	<p>外国青年によるALTの配置により、小・中学生が生の英語に触れることで英語教育の充実を図ることができた。</p> <p>英語専科配置に伴い、ALTとの効果的な活用を各小中学校の教務主任へ次年度配置に向けたアンケートを行い、効果的な配置ができるよう次年度に向け準備することができた。</p> <p>また、ALTが夏休み英会話スクールの英語講師として授業を行い、外国の文化や英語に間近に触れることができ町民との交流も図られた。さらに、幼稚園、保育園訪問により、様々な文化や言葉に興味感心を広めることが出来た。</p>	
	課題等	<p>各小中学校の教務との連携を密にし一層のALTの効果的な活用に努力したい。</p> <p>住環境の経費に係ることについて、町指定のアパート以外にも住居の選択肢を増やすことを検討し、町所有物件の活用による双方の住宅費の抑制といった経費削減が必要である。</p>	

5 奨学資金貸付事業			
点検	概要	五戸町出身の学生及び生徒で経済的理由により就学が困難な者に対して、学資を無利子で貸与して人材の育成を図る。償還期間は、1年据置後から貸与期間の2倍の期間以内とする。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規貸与者数 高校生 10人 大学生等 15人</li> <li>償還金償還率（現年度分） 95%</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>新規貸与者数 高校生 1人 大学生等 10人</li> <li>償還金償還率（現年度分） 97.1%</li> </ul>
評価	成果	経済的理由により就学が困難な者11名に対して新たに貸付を行い、全33名へ奨学資金の貸付けによる支援を実施し、人材育成を図ることができた。	
	課題等	現年度分の償還率については、97.1%となっている。全体の滞納額は過年度滞納者の未納額が増加した。（+290,000円） 未納者とのやりとりが十分にできていなかった部分があったため、未納者とのやり取りを密に行い、未納者の経済状況などの把握をし、返済に向けた取組みを継続的にを行い、未納額の減少に努める。	

6 コミュニティバス通学対応便事業			
点検	概要	学校統合などにより、遠方から通学する児童生徒の通学手段として、学校と該当地区の間に通学のためのスクールバスを業者委託により運行する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス運行学校 五戸小学校、倉石小学校、 五戸中学校、倉石中学校、 上市川小学校、川内中学校</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス運行学校 五戸小学校、倉石小学校、 五戸中学校、倉石中学校、 上市川小学校、川内中学校</li> </ul>
評価	成果	スクールバスを計画のとおり運行したことにより、遠隔地の児童生徒が円滑に通学することができた。	
	課題等	利用予定にあるが実際に児童・生徒が全く乗らない場合等の無駄な部分を少しでも無くするために、学校側にもバスについて知ってもらう必要がある。そのためには、各学校バス担当者と密に連絡、情報共有を取り合う必要がある。	

7 G I G Aスクール構想推進事業			
点 検	概要	<p>児童・生徒に1人1台タブレット端末の配布と高速ネットワークを整備することにより、タブレット端末を授業に活用し、授業の幅を広げることができる。</p> <p>また、ICT教育を行うことにより、これからの情報化社会に対応出来る人材の育成を行うことが出来る。</p> <p>(令和2年度に導入、令和3年度より運用)</p>	
	計画	<p>GIGAスクール構想を持続的に実現するために下記の経費がかかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークやタブレット端末の維持に係る使用料、保証料</li> <li>・故障した際の修繕費</li> <li>・サポート業務を行う業者への委託料</li> <li>・教材の著作権料</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ関係機器管理</li> <li>・通信料</li> <li>・GIGAスクールサポート業務委託料</li> <li>・授業支援ソフトライセンス使用料</li> <li>・ドメイン使用料</li> <li>・授業目的公衆送信補償金(教材の著作権料)</li> </ul>
評 価	成果	<p>各授業において、ドリルやテストを児童・生徒用端末に送信し、回答を返信してもらうことにより、一斉に答案を回収、評価をできるようになった。また、動画を授業に取り入れられるようになったり、体育等の授業において、内臓のカメラで自分の動きを撮影し、練習に活かせるようになった。</p>	
	課題等	<p>タブレット端末の活用の度合は、担任または各教科の先生の理解度よるところが大きいため、各学校間で差ができることがある。</p>	

8 海外研修支援事業			
点検	概要	海外の学校等での研修を希望する高校生の負担軽減を図るとともに、幅広い視野や優れた国際感覚を持つ次世代を担う才能あふれる人材を育成する。	
	計画	◎募集人員等 ・長期留学2名、短期留学3名 ・町内に住所を有し、高等学校又は高等専門学校在学者 ・広報による周知 ・海外研修事業に要する経費の一部を補助金として交付する。 ◎補助金額 ※長期 経費の1/3又は40万円のいずれか少ない額 ※短期 経費の1/2又は25万円のいずれか少ない額	実績
評価	成果	高校2年生2名へ海外研修費用の一部を助成したことにより、幅広い視野や優れた国際感覚を持つ人材の育成に寄与した。	
	課題等	コロナウイルスの影響による海外渡航制限も緩和されつつある中で、当事業をより一層活用してもらえよう、いろいろな機会を捉えて周知する必要がある。	

9 教育支援委員会事業			
点検	概要	<p>早期からの教育相談・支援や就学先決定時のみならずその後の一貫した支援についても助言を行うということを目的に、主に以下の8つの機能を担っている。(五戸町・新郷村共同設置)</p> <p>①障害のある子どもの情報を継続的に把握する。</p> <p>②就学移行期においては、教育委員会と連携し、本人・保護者に対する情報提供を行う。</p> <p>③教育的ニーズと必要な支援について整理し、個別の教育支援計画の作成について助言を行う。</p> <p>④教育委員会による就学先決定に際し、事前に総合的な判断のための助言を行う。</p> <p>⑤就学先についての教育委員会の決定と保護者の意見が一致しない場合に教育委員会からの要請に基づき第三者的な立場から調整を行う。</p> <p>⑥就学先の学校に対して適切な情報提供を行う。</p> <p>⑦就学後も必要に応じ「学びの場」の変更等について助言を行う。</p> <p>⑧「合理的配慮」について助言を行う。</p>	
	計画	令和5年度 予算額 454,295円 ・委員会…4回・専門部会…7回	実績 令和5年度 決算額 437,367円 ・委員会…5回・専門部会…7回
評価	成果	<p>令和5年度は48件(計4回判定)の判定を行った。就学時、就学後の必要な時期に学びの場を検討し、個別支援が必要と思われる児童生徒の教育支援を行った。</p> <p>検査実施可能な教職員を増やすために、教育支援委員会で2回講習会を行った。令和6年度より、幼児の検査については専門的知識の高い臨床発達心理士へ依頼し、検査を行うことにした。</p> <p>管内中学校統合までに中学校の通級指導教室を開設することを目標にしており、近隣の中学校通級指導教室(八戸市・三戸町)を見学し、開設までに至った経緯などを教えていただき、少しずつではあるが準備を進めている。</p>	
	課題等	<p>専門部員(特別支援教育担当教員・県立学校教員)の協力により検査を実施しているが、新しい検査方式への移行により、公認心理士資格を有する人しか検査を実施できないため、専門部員が不足してくることも予想される。発達障がいや疑いのある児童生徒が増加しているため、町独自の検査実施可能な人材を複数人確保する必要がある。</p>	

10		教職員の働き方改革に係る取組	
点 検	概要	当町立小中学校に勤務している教育職員の負担をより一層軽減し、長時間勤務の是正を図ることで、教育職員の健康及び福祉を確保し、教育職員が意欲と能力を最大限発揮して、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう、学校との連携の下、学校における働き方改革に向けて取り組むものである。	
	計画	<p>①在校等時間の上限等に関する規則・方針の整備等</p> <p>②教職員の在校時間把握</p> <p>③学校閉庁日等設定</p> <p>④スクールサポートスタッフ配置</p> <p>⑤部活動指導員配置</p> <p>⑥部活動地域移行検討</p>	<p>実績</p> <p>①規則制定済み、校長会で遵守依頼。働き方改革プランR5.9.1策定。</p> <p>②タイムレコーダーを管内全学校に導入し、打刻による客観的な把握に努めた。</p> <p>③閉庁日：R5.8.14～16 (3日間) 閉庁期間：R5.8.11～16 (6日間)</p> <p>④五戸小、切谷内小、上市川小、倉石小、各1人計4人配置。消毒や雑用など週15時間以内、年600時間以内でサポート。</p> <p>⑤五戸中女子バスケット部に1人配置。</p> <p>⑥検討協議会2回開催</p>
評 価	成果	各種取組みにより教職員の負担軽減が図られている。	
	課題等	<p>国、県の取組みに歩調を合わせ推進し効果を得ている一方で、取組みに伴う報告や調査など、管理職や事務職に新たな業務負担が発生していることから工夫しながら取り組まなければならない。</p> <p>教員の事務時間を短縮するため、校務支援システムや小中学校向け保護者連絡ツールを管内全学校に導入したいと考えている。</p>	

4-1-3 道徳教育の充実

11 五戸っ子宣言実践事業			
点検	概要	令和の五戸型教育の構築をめざし、これまで学校教育が果たしてきた教育の不易の部分を今一度確認し、来るべき時代で生き抜く資質・能力を育む基礎固めを目的に、めざす子ども像を明確にする「五戸っ子宣言」を策定しその宣言の内容について実践するものである。	
	計画	児童生徒自ら「五戸っ子宣言」を策定する。	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R4年度に策定した「五戸っ子宣言」をR5年度町教育大会にて宣言（各学校代表の児童生徒7名）</li> <li>・ 五戸中学校生徒による教室掲額デザイン案の作成</li> <li>・ 各校の実践状況を調査</li> </ul>
評価	成果	<p>町内各小中学校において「五戸っ子宣言」の各項目が創意工夫のうえ実践され、児童生徒に浸透し始めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践例</li> <li>一 自分から笑顔で元気にあいさつをします →あいさつ運動</li> <li>一 五戸の良いところを知るためにたくさんイベントに参加します →五戸まつり、町民運動会、新春マラソン等への参加呼びかけ。 おんこちゃん音頭講習会、五戸まつり講習会の実施</li> <li>一 友達の良いところを見つけます →校内放送や掲示物で思いやり行動を紹介</li> </ul>	
	課題等	策定して終わりではなく、小中学校の各教室や公共施設への掲額、実践状況を把握調査し発表する場を設けるなどし、風化させずに児童生徒に浸透させ続ける。	

4-1-4 食育の充実

12 学校給食地場産物活用推進事業			
点検	概要	学校給食に地場産物を使用し、「生きた教材」として活用することにより、児童生徒が食材を通じて地域の自然や文化、産業等に理解を深め、地産地消並びに、健全な食生活の実践に向けて食育の推進を図る。	
	計画	地産地消・食育の観点から、学校給食食材に地場産物や郷土料理を取り入れ、地元の食材や産業についての理解を深めると共に郷土の文化や伝統への関心を高める。	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食食材に地場産物（米・ながいも・にんにく・ごぼう・シャモロック・りんごジュース・馬肉・味噌・なんばんみそ等）を取り入れ、月1回、地場産物をたくさん使用した郷土料理（馬肉汁、せんべい汁、ひつつみ）などを提供した。</li> <li>・給食だよりを活用し、地場産物の紹介をすることにより、地元食材使用の周知を図った。</li> <li>・4年ぶりにバイキング給食を実施し、大変好評だった。</li> </ul>
評価	成果	地域の農畜産物を学校給食に活用することが、より身近に実感を持って、地域の食文化、産業や自然環境の恵みに対する児童・生徒の理解を深められた。	
	課題等	<p>食材調達は、安全・安心な給食を確保する観点から、地元産を含む青森県産の食材を積極的に使用するよう努めている。</p> <p>主食や主菜の価格が年々高騰し、当初予算内で給食を提供することが困難になってきている。しかし、児童生徒に美味しく安全・安心な給食を提供したいため、補正予算で増額要求をして対応している。</p>	

4-1-5 家庭・地域と連携した学校づくり

13 学校運営協議会事業			
点検	概要	学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものである。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員委嘱</li> <li>・ 各学校開催回数 2 回以上</li> <li>・ 委員報酬等支給</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学校推薦の61名に委員委嘱</li> <li>・ 各学校 2 回以上開催</li> <li>・ 委員報酬等支給</li> </ul>
評価	成果	それぞれ立場の違う委員より様々な視点からの助言や意見をいただき、効果的に教育活動が進められている。 また、地域と連携することにより信頼関係が深められ教育活動の向上につながっている。	
	課題等	学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係をより一層深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んでいく。	

14 地域学校協働活動支援事業（R4.3月までは学校支援地域本部事業）		
点検	概要	高齢者・成人・学生・保護者などの幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行う。
	計画	<p>・町内の学校2校に地域学校協働本部（旧学校支援センター）を設置する。2校に地域学校協働活動推進員（旧学校支援コーディネーター）を計5人配置する。</p> <p>・推進員が、学校とボランティアの調整に当たる。</p>
評価	実績	<p>・五戸小学校、倉石小学校の2校に地域学校協働本部（旧学校支援センター）を設置している。2校に計5人の地域学校協働活動推進員（学校支援コーディネーター）を配置した。</p> <p>・推進員が、図書整備や学校田畑の整備等実施。それに伴い、地域住民がボランティアとして参画している。</p> <p>ボランティア参加者数 五戸小学校 95人 倉石小学校 27人</p>
	成果	<p>地域住民（ボランティア）が交流する貴重な機会であり、地域住民の親しみや教育に関する理解の促進が得られる場でもある。</p> <p>新型コロナウイルスが第5類に移行したこともあり、多くの地域住民が学校と関わりを持つことが出来ている。令和6年度も引き続き国県補助事業として行う予定となっている。</p>
	課題等	<p>推進員の資質向上と、教育委員会の協働による地域ボランティアのさらなる発掘や地域の理解が必要である。</p> <p>今後双方の特色ある活動を見学し、お互いを刺激し合うことが重要になる。</p>

15 通学合宿事業		
点検	<p>概要</p> <p>子ども達の生活する力の育成と地域の教育力の醸成を目的とし、家族と離れて、地域の自治会館等に宿泊しながら集団生活を送り、炊事、掃除等の生活体験をする。</p> <p>地域の大人と一緒に活動をし、地域の方々との交流を深めることで、子どもの自立心や生活する力の向上、協調性や我慢する心を育む。さらには、地域住民で実行委員を組織し、地域の大人が子ども達の生活や体験活動をサポートすることを通して、地域住民同士が交流をし、地域ぐるみで子ども達を育てていこうという機運を高める。</p> <p>町からの直接的な資金は投入されていない。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td> <p>計画</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加児童 働くことや協力することの大切さを知ってもらう90%</li> <li>・保護者 働くことや協力することの大切さを児童に理解させる70%</li> <li>・実行委員 地域で子どもを育てるきっかけをつくる80%</li> </ul> </td> <td> <p>実績</p> <p>本事業継続について学校側の意見も頂戴し、教育委員会でも協議した結果、廃止することとした。</p> </td> </tr> </table>	<p>計画</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加児童 働くことや協力することの大切さを知ってもらう90%</li> <li>・保護者 働くことや協力することの大切さを児童に理解させる70%</li> <li>・実行委員 地域で子どもを育てるきっかけをつくる80%</li> </ul>
<p>計画</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加児童 働くことや協力することの大切さを知ってもらう90%</li> <li>・保護者 働くことや協力することの大切さを児童に理解させる70%</li> <li>・実行委員 地域で子どもを育てるきっかけをつくる80%</li> </ul>	<p>実績</p> <p>本事業継続について学校側の意見も頂戴し、教育委員会でも協議した結果、廃止することとした。</p>	
評価	<p>成果</p> <p>新型コロナウイルスの影響で実施することができずにいた本事業だが、復活できるか学校側の意見を聴聞。学校側の意見を踏まえ、当課でも協議した結果、廃止することとした。</p> <p>【学校側の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊学習との時期が被る。</li> <li>・必要性に欠ける、長期的にみても続行しなくてもいいと思う。</li> </ul> <p>【教育委員会の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代が進むにつれ部活動が無くなりクラブに通う児童が増え社会的に変化してきている。そのため、従来の平日での開催は厳しい。</li> <li>・地域の人との関りなどは、ほかの活動（地域学校協働活動や子ども教室）で賄うことが出来る。</li> </ul>	
	<p>課題等</p>	

4-1-6 放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進

16 放課後子ども教室推進事業		
点検	概要	放課後に学校の空き教室等を活用し、地域の方々の協力を得て、子ども達の安心・安全な活動拠点をつくり、スポーツや文化活動、地域住民との交流を通して、地域が一体となって心豊かでたくましい子ども達を育む環境づくりを目指す。開催日は、平日の放課後から17時頃まで。 (曜日や時間は実施校により異なる。) 年5回程度、土・日曜日を利用した体験活動を開催する。
	計画	<p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 計60名</li> <li>・開催日数は平日計162日、土曜日等計8日、合計170日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催2回</li> </ul>
評価	実績	<p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催した。令和6年度から上市川小学校実施にあたり、スタッフを募集し、立ち上げに係る会議等を開催。</p> <p><b>【受入人数】</b>            五戸小 25名            倉石小 23名            切谷内小16名 計64名</p> <p><b>【開催日数】</b>            五戸小 (平日) 61日            倉石小 (平日) 31日            切谷内小 (平日) 32日            五戸小 (休日) 5日            休日体験活動(全小学校共通) 6日            合計135日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催2回</li> </ul>
	成果	<p>新型コロナウイルスが第5類に移行され、休日体験活動を昨年より4回多く開催することができた。開催日数は目標値を下回ったが、万全の対策を行い、子どものあそび場や居場所の提供を実施した。</p> <p>本事業は、地域の方々の協力により年齢の異なる子どもたちが一緒に工作、料理、自然学習、農作業、アウトドア体験等の様々な体験活動を行うものであり、普段家庭ではなかなかできない体験ができるということで参加児童の保護者からも好評を得ている。</p> <p>令和6年度から上市川小学校新開設にあたり、スタッフを12名確保することができた。</p>
	課題等	学校の図工室等で活動しているが、夏場の活動になると気温が高く活動が十分にできていない教室が存在するのが現状である。6年度より各学校にスポットクーラーが配布されたので、子ども教室での課題点を学校側とも情報共有し熱中症対策に努めていく必要がある。

## 施策4-1 総括的評価

児童生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、幼児教育や学校教育の教育環境の充実が図られているか、及び安全で安心な子どもの居場所づくりに向けて、みんなで子どもを守り育てる社会環境づくりが進められているか、関連する16事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

通学合宿事業を除く15事業を引き続き実施していくことになるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

### 点検・評価助言委員の意見

#### 1 幼児教育相談・就学相談事業

● 五戸地区の幼稚園・認定こども園等の保育教諭を招いて、教育支援委員会が開催する研修会の実施したことはとても有意義であると思います。子供・保護者をまじえたオープンスクールの新規事業の実施や、令和6年度からの専門知識を持った臨床発達心理士による検査の実施など、この事業の充実に向けた取組はすばらしいと思います。

さらなる要望としては、オープンスクールについて、不安のある保護者に対して保健師もまじえた相談の場を設けるなどの他部署を巻き込んだより内容の濃いかたちへ進んでいくことに期待したいと思います。

● 新規事業である入学前のオープンスクールはとても良い試みだと思います。その実施状況及び成果・問題点等があれば教えてください。

● 臨床発達心理士の活用も期待されます。臨床発達心理士の経費及びその実施状況、並びに成果・問題点等があれば教えてください。

#### 2 学校施設維持管理事業

● 学校訪問による学校の要望はどうしても目の前の緊急的なものが多くなり、まさに、この施設維持管理事業の中心となり得るものかもしれません。当然優先させていかななくてはならないと思います。できれば、学校からの要望以外にも、学校運営協議会方々からの要望なども聞く場を設け、より多様な方々からの意見を聞いてみる場があってもいいかもしれません。

● また、できれば、ここに「学校教育環境施設充実事業」のような新しい事業（項目）をつくり、「施設の維持」という視点以外に、委員会として長期視点をもった、修繕箇所以外の「子供たちの安全に関わる設備の充実」「子どもたちの健康管理に関する教育環境の充実」「子供たちの心のケアを進めるための教育環境の充実」を視点とした「維持」から「充実」への取組も進めていただければ、「教育の町」としての施策へつながるものと思います。（経費や他の機関との連携等が必要になりますが・・・）

● 児童生徒の安全安心な学校生活を第一義に、優先順位を決めて改修及び修繕が行われることを期待します。

#### 3 特別支援教育支援員配置事業

● 昨年度も「各学校教職員と支援員との連携が不足している学校が見受けられたという問題点が見つかった」と書かれており、このことについて、その際、「連携強化の取組の具体例を明示する」等を提案したと思います。しかし、文章が昨年度と同じであることから事業の改善が進んでいないと思われます。昨年度、その解決策にありましたフィードバックの活用

<p>についてなど具体的な取組がありましたなら、その文言がほしいところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教員の負担軽減等、各学校運営に大きく寄与していると考えます。</li> <li>● 計画では23人の配置とあるが、実績では26人の配置になった理由は何かあるのでしょうか？</li> <li>● 4年度、「報告書のフィードバックがなされず連携不足解消に至らなかった」とのことでしたが、5年度は改善されたのでしょうか？</li> </ul>
<p>4 語学指導外国青年招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教務主任との連携を進めているようなので、今後の効果的な活用に期待したいと思います。また、学校教育だけではなく、公民館講座による地域住民とのつながりもとても重要だと思しますので、今後、さらなる充実に期待したいと思います。一方、教科としての英語科についてですが、小学校の5・6年の英語活動から教科となることにより、中学校履修内容も小学校5・6年での学習の基礎を前提として進められています。そのために、小学校5・6年での英語の授業の充実と小・中学校の英語教員との連携がとても重要であり、ALTを有効活用できる学校の体制のためにも、小・中学校の教務・英語担当教員・ALTの合同の打合(会議)等を開催し、それぞれの学校の課題やALTの共通した活用のあり方を話し合うことにより、ALTの有効活用につながるかもしれません。</li> <li>● 幼稚園や保育園訪問により、幼少期からネイティブスピーカーに触れる機会はとても有意義なことだと思います。</li> <li>● 「英語専科配置に伴い、効果的な配置ができるよう次年度に向け準備することができた」とありますが、具体的にはどういうことでしょうか？</li> </ul>
<p>5 奨学資金貸付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 奨学資金貸付制度の償還減免の取組を進めることと、新たな滞納額の増加という課題に対し、滞納額の減少に向けての具体的な取組に期待します。</li> <li>● 課題等で、未納額が増加した理由に、「未納者とのやりとりが十分にできていなかった部分があった」とありますが、具体的にはどういうことでしょうか？</li> </ul>
<p>6 コミュニティバス通学対応便事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスの利用について、毎年出される「全く乗らない」場合について、バス利用させる保護者の意識を高めることも必要と感じます。これは、学校単独では難しい面もあり、教育委員会からバス利用者の保護者へ啓発活動を進める取組も考えていく必要があるかもしれません。(それとも、学校での下校時刻とのミスマッチが原因と考えておられるのでしょうか？)</li> <li>● 課題等で、「各学校バス担当者と密に連絡、情報共有を取り合う」とありますが、具体的にはどのように取り合ったのでしょうか？</li> <li>● 4年度、上市川小と川内中は計画になかったのですが、5年度計画した理由を教えてください。</li> </ul>
<p>7 GIGAスクール構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● タブレット端末の配布後、その使用の問題点も出てきていると思います。また、他の地域ではタブレット端末の更新トラブル等の例もあるようです。保守・管理に関する状況はどのようになっているのでしょうか？課題の中にその点での文言もほしいところです。</li> <li>● 4年度の回答で、「具体的な取り組み内容を含めた計画・実績に改善する」ということでしたが、改善できた点があったら教えてください。</li> </ul>
<p>9 教育支援委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 検査実施可能な専門委員の育成は重要ですが、喫緊の課題は、専門資格をお持ちの方によ</li> </ul>

<p>る検査実施のための人員の確保だと思います。是非、予算の確保とともに進めてほしいと思います。</p> <p>五戸中学校に通級指導の設置を検討しているようですが、開設にあたり、中学校教員があまり経験のない事務作業として、生徒一人一人の教育課程の編成作業、対象者一人一人に対応する時間割の編成など、ハードウェア面での充実の他に、ソフトウェア面の充実も重要になってきます。また、中学校の教員の特別支援教育に制度と取組の考え方の転換や、特別支援教育担当教員や教務主任の小中の連携がとても重要になってくると思います。特に、中学校での時間割の作成には小学校にない緻密さが求められることから、これらの課題をクリアできるよう教育委員会の計画的な取組(環境づくり)に期待したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画と実績の部分で、予算額が8万弱、決算額が6万程度、昨年度より増加しているのは、2回の講習会及び臨床発達心理士依頼のためでしょうか？</li> <li>● 課題等で「公認心理士資格を有する人が・・・専門部員が不足してくる」はどういう意味でしょうか？</li> </ul>
<p>10 教職員の働き方改革に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 働き方改革の環境整備を進めるためには、県教委から出されている「学校における働き方改革プラン(令和5年度～令和7年度)に係る取組状況調査結果」等の中にある「学校における働き方改革に係る好事例・課題」を参考に、具体的取組を計画に盛り込み進めていってほしいと思います。</li> </ul>
<p>11 五戸っ子宣言実践事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題等に掲載されているように、実戦に向けた取組を学校任せにせず、是非、発表の場を設け、各校の取組を共有化し、各校の児童会や生徒会・学級のリーダーを集めたリーダー研修会等を実施し、宣言の具現化に向けた話し合いや「五戸っ子宣言」のポスター(8項目)の掲載されたものの発行やパンフレット作成するなど、教育委員会の主導した各学校が実践に向けて取り組みしやすい体制を進めていけたら素晴らしいと思います。(昨年度も書きましたが)</li> <li>● 小中全体で取り組んでいることが素晴らしいと思います。現在把握している各校の実践状況があったら教えてください。</li> </ul>
<p>12 学校給食地場産物活用推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 価格の高騰による給食提供に対する担当者のご苦勞を考えると頭の下がる思いです。好評であったバイキング給食での地元食材のPR等を今後も進めていただければと思います。</li> <li>● バイキング給食の地元産食材の割合はどのくらいだったのでしょうか？また、児童生徒へ周知方法はどのようにしたのでしょうか？</li> <li>● 成果に「・・・児童・生徒の理解を深められた」とのことですが、どのようなことからそう感じたのでしょうか？</li> </ul>
<p>13 学校運営協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年目ということもあり、学校評議員制度の時と比較して、様々な具体的な成果と課題等が出てきたと思います。「課題等」では、具体的なことがあったのではないのでしょうか。この文言では、教育委員会が行う次年度への改善への道筋が見えないと思います。</li> <li>● 学校運営の改善につながったり、支援・協力が得られたりした事例があれば教えてください。</li> </ul>
<p>14 地域学校協働活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校が地域の活動に参画し、子供たちの学びや成長を支えた事例は何かありませんか？現状では、まだ「学校支援」という段階のように感じます。名称変更になった「地域学校協</li> </ul>

働活動～」の本来の趣旨に移行できるよう期待したいところです。

- 課題等にある「双方の特色ある活動を見学し・・・」はとても良いことだと思います。

#### 15 通学合宿事業

- 現状から考え、廃止が妥当と考えます。

#### 16 放課後子ども教室推進事業

- 上市川小学校でも実施されたことは良かったと思います。「成果」と「課題等」につきまして、「放課後子供プラン運営委員会」の話し合いの中で出されたものがあれば、その内容が掲載されると良いと思います。
- 上市川小新開設に12名のスタッフを確保したのは大きな成果だと思います。
- 熱中症対策としてスポットクーラーの活用は有効と考えます。

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-2 生涯学習

- 生涯にわたる学習意欲に応えるために施設の充実を図り、各種研修・講習・学習会を積極的に開催します。
- 生涯学習活動を通じて、新たな知識の習得や人との出会いの場となるよう、住民の学習ニーズへの柔軟な対応や気軽に楽しめる環境づくりに努めます。

#### 【4-2-1 社会教育関連施設の充実】

※各施設に委ね実施

#### 【4-2-2 図書館の利用促進】

- 17 移動図書館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 24

#### 【4-2-3 生涯学習プログラムの整備と提供】

- 18 町民大学講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 25  
19 公民館講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 25  
20 公民館情報紙発行事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 26  
21 文化賞・スポーツ賞等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 26  
22 町民文化講演会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 27  
23 町文化協会支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 27  
24 あいさつ運動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 28

#### 【4-2-4 指導者の育成と団体等の活動支援】

※各種事業で働きかけ実施

#### 【4-2-5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施】

- 25 成人式「二十歳を祝う会」事業・・・・・・・・・・・・ P 29

#### 【4-2-6 五戸町を深く知る取組の推進】

- 26 好きです五戸町ボランティア運動事業・・・・・・・・ P 30

#### 【4-2-7 学習成果の活用】

- 27 ボランティア活動支援事業・・・・・・・・・・・・ P 31

- 施策4-2 総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・ P 32

4-2-2 図書館の利用促進

17 移動図書館事業			
点検	概要	図書館から遠隔地により利用しにくい地域の人たちのため、自動車に図書を積み込んで各地区と小学校を巡回し図書の貸出しを行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域巡回貸出冊数 1,000冊</li> <li>・学校巡回貸出冊数 3,600冊</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回5箇所での地域巡回及び小学校4校での巡回を実施した。</li> <li>・地域巡回貸出冊数 820冊</li> <li>・学校巡回貸出冊数 7,339冊</li> </ul>
評価	成果	<p>移動図書館により、遠隔地域への図書貸出サービスや地域を定期的に巡回することで読書の推進が図られ、利用者の希望に応じた貸出しをすることができた。</p> <p>なお、実績について地域巡回はおおむね順調に推移している。学校巡回については、新型コロナウイルス感染症対策により、生徒自ら自動車内にある図書を選ぶのではなく、一定の冊数（一校あたり20～30冊）を小学校に貸出していたため、計画より大きく上回った。</p>	
	課題等	<p>遠隔地域への貸出しについては利用者が固定化しているため、巡回場所や日時等の見直しを検討し利用者増に努めたい。</p> <p>また、学校巡回については、一定の冊数を置くのではなく、生徒自らが図書を選び、図書カードを使い、図書館と同じような借り方と併用ができるよう変更できればと考えている。これについては学校と連携し検討する必要がある。</p>	

4-2-3 生涯学習プログラムの整備と提供

18 町民大学講座事業			
点検	概要	生涯学習の一環として町民へ学習機会を提供することを目的に、年間を通じて各分野の講師を招いて講演を行う。また、施設見学などの移動講座も行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催講座数 10講座</li> <li>開催回数 11回</li> <li>受講者数 延べ330人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催講座数 10講座 (うち1講座は移動講座)</li> <li>開催回数 10回</li> <li>受講者数 延べ191人</li> </ul>
評価	成果	今年度の講師については、大学の先生だけではなく、地元の方を講師として依頼したり、法務局・銀行といった普段は依頼しない公共施設に従事している方が講師を務めたりと試行錯誤しながら工夫することが出来た。	
	課題等	講座の内容に興味を持ち、新たに受けてくれた受講者が少ない。毎年楽しみにして下さる受講者に加え、本事業を知らない町民等に広く周知が必要。 また、若年層にも受講機会を広めるため、回によって開催内容や開催日時を柔軟に設定する等の検討が必要。(場合によっては土日や夜間開催も)	

19 公民館講座事業			
点検	概要	町民が生涯を通して生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、公民館において町民一人ひとりの学習ニーズに対応する多種多様な講座で、受講者が作成などを行う学びの場や健康体操等を提供する。講座は、半年間を通して行う普通講座、2～3か月の期間で行う短期講座、川内・浅田・倉石の3地区の施設に出向いて行う移動講座がある。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加延べ人数</li> <li>普通講座 1,000人</li> <li>短期講座 100人</li> <li>移動講座 60人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>普通講座 (英会話・パッチワーク・ヨガ・チェアヨガ・エアロビクス・スポーツウェルネス吹矢・習字・ステンドグラスのある暮らし・ベンガラ染め・料理で世界を旅しよう10講座) 832人</li> <li>短期講座 26人</li> <li>移動講座 39人</li> </ul>
評価	成果	公民館講座は、幅広い年代の町民が受講しており、普通・短期・移動の3種類の多様な講座を開講することで受講者同士の交流する場も増えやりがいや達成感を感じるにより日頃のストレス解消などにつながった。	
	課題等	短期・移動講座の新規受講者の加入を促進するため、町民の学習ニーズを調査し新たな講座の開講、特に日中の講座を希望されている方もあり、講座を楽しく参加できるような企画を検討する必要がある。	

20 公民館情報紙発行事業			
点検	概要	公民館事業への理解と関心を深めるために、公民館事業の情報紙「おんこ」を作成し、自治会を通して毎戸配付や回覧をすることで、公民館の利用者数の増加を目指す。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おんこ」の発行</li> <li>・年間利用者数 35,500人</li> <li>・年間利用件数 2,000件</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座の開催についての情報などを発信するため、「おんこ」を発行した。</li> <li>・年間2回の「おんこ」を発行</li> <li>・年間利用者数 25072人</li> <li>・年間利用件数 1749件</li> </ul>
評価	成果	公民館情報紙「おんこ」を発行することで、公民館事業等を住民へ効果的にお知らせすることができ、また公民館利用者の利便性を高めることができた。	
	課題等	公民館情報紙「おんこ」と共に、町のホームページでの情報提供も続けていくが、現状では、紙面以外での情報入手が困難な状況にある方のためには依然として情報紙としての役割も大きい。 今後とも見やすい、解りやすい公民館情報紙をめざし、情報提供していく必要がある。	

21 文化賞・スポーツ賞等事業			
点検	概要	町の芸術文化の分野において、優れた創作活動を行っている個人または団体に対し「文化功労賞、文化賞、文化奨励賞」を、また町の体育・スポーツの振興発展への功績及びスポーツ大会において優秀な成績を収めた個人または団体に対し「スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞」を授与する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化賞 15人</li> <li>・文化奨励賞 30人</li> <li>・スポーツ賞 15人</li> <li>・スポーツ奨励賞 40人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化賞 2人</li> <li>・文化奨励賞 19人</li> <li>・スポーツ功労賞 3人</li> <li>・スポーツ賞 18人</li> <li>・スポーツ奨励賞 24人</li> </ul>
評価	成果	令和5年度については教育大会が無事に開かれ、様々な分野で活躍した方々を讃えることができ、その内容が町の広報紙に掲載されることで、町民に広く活躍を知らせることができた。	
	課題等	受付時混雑する場面があった。効率よくスムーズに受付ができるように改善していきたい。	

22 町民文化講演会事業			
点検	概要	町立公民館で講演会や演奏会などを実施することで、町民が芸術文化の関心を高めるとともに豊かな感性を育む機会を提供する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和のうたコンサート「北海道歌旅座」</li> <li>・スプリングコンサート ターンバック他</li> </ul> 入場者総数 1,300人	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリングコンサートのみ開催</li> <li>・スプリングコンサート ターンバック他</li> </ul> 入場者数 200人
評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が芸術文化に関心を持ち心豊かな感性を育てるため、コンサートを企画してきた。令和5年度もスプリングコンサートをターンバックの協力をえて開催することができた。</li> </ul>	
	課題等	スプリングコンサートはターンバックの協力得て、予算をかけずに開催している。今後、多くの町民が楽しめるものの実施を求められ難しい状況であるが、予算措置も含め検討する必要がある。	

23 町文化協会支援事業			
点検	概要	町文化協会の事務局を町立公民館で担当、協会運営と文化団体の事業の推進を図るとともに、町の芸術文化団体相互の交流などの活動を支援するために、町文化協会へ町補助金を交付する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会加入団体数 50団体</li> <li>・産業と文化祭り参加数 20団体・個人</li> <li>・芸能発表会参加数 20団体・個人</li> <li>・町補助金の交付</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会加入団体数 51団体</li> <li>・文化祭り参加数 33団体 5個人</li> <li>・芸能発表会参加数 10団体</li> <li>・町補助金を交付</li> <li>・文化財等の清掃奉仕</li> </ul>
評価	成果	補助金の交付を受け、視察研修の実施や発表会への参加など、町の文化団体組織の活性化と芸術文化が図られていたが、令和5年度も引き続き、各種研修会や交流会などのイベントは行いませんでした。例年行っている根岸三十三観音の草刈り奉仕作業については、各種文化財の関係者と連携し、奉仕作業を行った。また設立50周年記念事業として『奥州街道』についての標柱を設置。（令和6年4月に完了。）	
	課題等	今後も協会運営と文化団体の事業の推進が図られるよう支援していく。	

24 あいさつ運動事業		
点検	概要	町内に気持ちの良いあいさつが響きわたるよう家庭、学校、職場をとおして本運動を展開し、「あいさつ日本一のまちづくり」を目指すものである。
	計画	実績
評価	成果	あいさつ運動を実施したり、あいさつ標語コンクールを開催することによって、五戸町の各小・中学生の”あいさつ”に対する高い意識づけをさせることが出来た。
	課題等	今回あいさつ運動関連の行事は小・中学生を中心に実施したが、今後の課題としては町全体をあいさつによって活気づけられるかというところだと考える。 各課と協力して集会等で横断幕やのぼり旗を使い周知をより深める活動をしたり、啓発グッズを製作（例：特製ステッカーを町の主要施設で掲示を依頼）したりして周知していきたい。

4-2-5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施

25 成人式「二十歳を祝う会」事業			
点検	概要	<p>二十歳になる新成人の町民を対象に式典を行う。                      式典の企画運営は、新成人たちが自ら実行委員会を組織して検討・実施する。                      また、新たな取り組みとして「町長と語るつどい」を企画し、若者と町長が様々な議題に関して、語り合う場を創出する。</p>	
	計画	<p>・新成人の参加率（参加者／対象者）45%</p>	<p>実績</p> <p>・令和5年度成人式（令和6年1月7日）は参加率61.5%であった。                      ・「町長と語るつどい」の開催                      参加人数：16名</p>
評価	成果	<p>5年度は参加率が昨年度より3ポイント向上しており、50%を超える結果となった。実行委員会の打ち合わせも滞りなく進み、新成人にとってとても良い式になった。</p>	
	課題等	<p>例年、実行委員会は新成人により構成されることから、より良い事業とするために過去の成人式対象者や実行委員経験者に参加してもらう等、広く人材を募集し開催経験を継承していく必要がある。</p>	

4-2-6 五戸町を深く知る取組の推進

26 好きです五戸町ボランティア運動事業			
点検	概要	主に若者世代を中心とした、ボランティア人材登録制度を整備し、町や自治会等の町内団体が主催する活動やイベント等における「人手が欲しい（足りない）ニーズ」と地域のため「ボランティア活動に参加したいニーズ」をマッチングする。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア人材登録者数 70名</li> <li>・ ボランティア派遣件数 10件</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア人材登録者数 119名</li> <li>・ ボランティア派遣件数 6件</li> </ul>
評価	成果	5年度から、昨年度まで中学生までの申し込みにしていたところを小学生高学年（5、6年生）まで引き下げた。その影響もあり登録者人口も増加し、派遣件数も昨年度から5件以上増えた。	
	課題等	小学生まで年代を引き下げたが、小学生の登録者が少ないのが現状である。この課題からさらに広く周知していかなければならない。	

4-2-7 学習成果の活用

27 ボランティア活動支援事業			
点検	概要	<p>町内の各分野における特技を持った人材を生かし、町民の社会参加の場を提供するとともに、地域ぐるみの教育を目指した「学校等支援ボランティアバンク」にボランティアで活動する人をリストに登録し、学校等からの求めに応じて人材を紹介する。 登録の更新は、2年ごとに行う。</p>	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録人数 30人</li> <li>・登録件数 10件</li> <li>・活動件数 10件</li> </ul>	実績
評価	成果	<p>5年度は登録人数が前年度より増えているが、活動できていない状況である。</p>	
	課題等	<p>5年度は活動実績を残すことができなかった。課題としてボランティア事業が複数存在するということが影響していると考え。6年度は事業内容を変更、改良することも視野に入れ検討していきたい。</p>	

## 施策4-2 総括的評価

生涯にわたる学習意欲に応えるために施設の充実を図り、各種研修・講習・学習会を積極的に開催しているか、及び生涯学習活動を通じて、新たな知識の習得や人との出会いの場となるよう、住民の学習ニーズへの柔軟な対応や気軽に楽しめる環境づくりに努めているか、関連する11事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

### 点検・評価助言委員の意見

#### 17 移動図書館事業

- 「課題等」に記載されている「遠隔地」について、前回も同じような課題が出されていることから、「実績」の欄の「月1回5箇所……」を次年度では、見直しが図られることを期待します。
- 移動図書館の場合は時間が限られているので、その中で自分の好きな図書を選ぶのはあまり余裕がないのではないのでしょうか？特に小学生の場合はこちらが推薦する図書を提供することもよい方法だと思います。

#### 18 町民大学講座事業

- 講師について、様々な方を招聘して取り組まれていることは素晴らしいと思います。課題としてあげられている周知方法として、町の広報誌に講師の紹介など1ページ特集を組むなど大きく取り上げてみることも大事かもしれません。八戸市の場合、至る所に実施予定の講座のポスターを見受けられますし、年間の来八する講師の年間スケジュールなども目に触れることが多いような気がします。五戸町では広報誌がやはり有効なのではないのでしょうか？（大きく扱うことが大事かも。）
- 講師に大学の先生だけではなく、地元の人や法務局・銀行などの人を依頼したのは良い試みだと思います。受講者の反応はどうだったのでしょうか？
- 講師として、地元企業の経営者等も良いのではないのでしょうか。

#### 19 公民館講座事業

- 昨年度も「町民の学習ニーズの調査」が「課題等」へ上げられていましたので、できれば、先の話ですが、今年度の令和6年度の計画には、この「調査の実施」を計画に入れ、実際にその結果を踏まえた講座開設につなげていただけたらと思います。
- 新型コロナが第5類に移行されたことも影響しているかもしれませんが、実績として普通講座が倍増、短期講座・移動講座も増加していることは良いことだと思います。

#### 20 公民館情報誌発行事業

- 情報誌の効果を把握することも必要ではないのでしょうか？例えば、公民館事業参加者にアンケート(どのようにして公民館事業を知ったか)を実施するのはどうでしょうか？

#### 22 町民文化講演会事業

- 予算が確保できなければ、事業の実施は難しいものがあると思います。事業の継続か予算確保困難のため事業廃止か、検討する時期に入っているのではないのでしょうか。
- 課題等で「現在予算がなくできていない」とは、どういうことでしょうか？経費なしで事業を企画運営はできないと思いますが。

### 23 町文化協会支援事業

- 成果で「令和5年度も各種研修会や交流会などのイベントは行いませんでした」とありますが、その理由は何でしょうか？

### 24 あいさつ運動事業

- 「あいさつ運動」といえば、小学校や中学校での取組がどうしても中心となってしましますが、やはり、本来は家庭からのスタートだと思います。そのためにも、否応なしに目に入るようなステッカーやポスターの公共機関・街中での掲示、家庭への配布と掲示依頼や、お祭り等のイベント内での取組の実施など、一般の大人向けのあいさつ運動の充実に期待したいと思います。
- 「広報ごのへまち」の活用はとても良い試みだと思います。

### 25 成人式「二十歳を祝う会」事業

- 参加率は10%伸び、式典の内容も滞りなく実施できたのはよかったですと思います。参加率をさらに上げるために、町長との懇談を始め、今後も若者がこれからの町に対するビジョンを話し合う機会があれば良いと思います(話し合いの結果を行政施策に取り入れていく)。また、「成人式」から「二十歳を祝う会」に名称も変更になっていますので、この報告書の文言も事業名称・概要・計画・実績・課題等にある「成人・成人式」→「二十歳・二十歳を祝う会」に変更した方がよいかもしれません。

### 26 好きです五戸町ボランティア運動事業

- 小学校まで対象者を広げた成果はあったと思いますが、20代の親御さんを含めた低学年(親子で参加)も含めると、小学生の登録者も増加するかもしれません。
- 実際にボランティアを派遣された側(制度を利用した団体)の方の感想を何かの機会を通して紹介するのも面白いのではないのでしょうか。
- ボランティア人材登録者数及び派遣件数増のためにも、ボランティア内容や実績、課題等を広く周知し関心を持ってもらう必要があると思いますがどうでしょう。

### 27 ボランティア活動支援事業

- 課題等にもあるように「24. 学校支援地域本部事業(地域学校協働活動推進事業)」とは趣旨が異なっているはずですが、一緒になってしまっている可能性が考えられます。今、一度、事業にかかわる方々とそれぞれの事業内容の周知と連絡調整が必要と考えられます。また、その内容を総括する部署が必要かもしれません。
- 成果で「活動できない状況である」とはどういうことでしょうか？
- 課題等で「ボランティア事業が複数存在することが影響している」とあるがどういうことでしょうか？

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-3 スポーツ・レクリエーション

- 住民がそれぞれの年齢、趣味、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、指導者の育成や施設・設備の改修等、安全に利用できる環境づくりを進めます。
- スポーツ・レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流機会となるよう、気軽に参加できる機会づくりに努めます。
- 住民が自身の健康づくりの一環として行うことができる年齢層に応じた生涯スポーツの普及促進に努めます。

#### 【4-3-1 多様なスポーツ活動の普及促進】

- 28 スポーツ推進委員事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 35
- 29 生涯スポーツ振興事業等委託事業・・・・・・・・・・・・ P 36
- 30 スポーツクラブ育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 37
- 31 スポーツ大会出場祝金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 37
- 32 町民運動会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 38

#### 【4-3-2 指導者の育成・確保】

※各種事業所に働きかけ実施

#### 【4-3-3 スポーツを通じた交流の促進】

※各種事業で働きかけ実施

#### 【4-3-4 スポーツ環境の整備】

- 33 スポーツ施設の管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 39

施策4-3総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・・・ P 40

4-3-1 多様なスポーツ活動の普及促進

28 スポーツ推進委員事業		
点検	概要	町のスポーツの推進のため、熱意と能力のある住民をスポーツ推進委員として町教育委員会が委嘱し、社会体育事業の企画・運営をしてもらう。また、その他の団体のスポーツ行事・事業に協力及び指導助言をしてもらう。
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会・登山・歩こう会の企画運営への参画</li> <li>・各種スポーツ大会への協力</li> <li>・委員の行事等への延参加者数 50人</li> </ul>
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員は、町民登山、歩こう会及び町民運動会の企画運営に参画した。</li> </ul> <p>各種事業出席人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人スポーツ大会 5人</li> <li>・町民登山（中止）10人（予定者）</li> <li>・町民歩こう会 8人</li> <li>・町民運動会 14人</li> <li>・全国スポーツ推進委員協議会研修会 5人</li> <li>・三八スポーツ推進委員研修会 11人</li> <li>・三八地区地域スポーツ事業 5人</li> </ul>
評価	成果	スポーツ推進委員は、専門的な知識と行動力で町の事業に参画するなどスポーツの振興に寄与した。スポーツ推進員なしでは、町民運動会、町民登山及び歩こう会の円滑な計画立案・実施は難しいといえる。各種行事においては新型コロナウイルスが第5類に移行したこともあり、各種事業に対する参加者数の合計は58人と目標を達成することができた。47年ぶりに全国スポーツ推進委員研究協議会が青森市で開催され、当町からは5名の推進委員の方がスタッフとして従事し、当会を無事に終えることができた。
	課題等	委員多忙により県や三八地域の研修会へ参加することが困難なため、会議など集まりの際に、研修に出席した委員から学んだことを共有するなど工夫しながら、委員のスキルアップを図っていきたい。

29 生涯スポーツ振興事業等委託事業					
概要	「町民一人1スポーツ」を奨励し、心身ともに健康で豊かな生活を送るため、生涯スポーツを推進することを目的に、誰もが気軽に参加できる各種スポーツ大会や運動教室の実施についての企画、運営を（公財）五戸町スポーツ振興公社に委託している。				
点検	<table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,265人</li> <li>・県民スポレク祭派遣 1回</li> <li>・開催スポーツ大会数 5回</li> <li>・開催教室数 3回</li> <li>・各種講習会・支援事業 5回</li> <li>・登山参加者 30人</li> <li>・歩こう会参加者 30人</li> </ul> <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の実施内容</li> <li>選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート</li> <li>・練習会等回数 30回</li> <li>・練習会参加者数 30人</li> </ul> <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の交付</li> <li>・登録指導者予定数 30人</li> <li>・登録団員数 200人</li> <li>(合計 230人)</li> </ul> </td> <td>実績</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,180人</li> <li>・県民スポレク祭派遣 1回</li> <li>・開催スポーツ大会数 8回</li> <li>・開催教室数 4回</li> <li>・各種講習会・支援事業 23回</li> <li>・登山参加者(秋田駒ヶ岳) 中止</li> <li>・歩こう会参加者(むつ市川内川溪谷) 58人</li> </ul> <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の実施内容</li> <li>選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート</li> <li>・練習会等回数 34回</li> <li>・練習会参加者数 31人</li> </ul> <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団本部へ補助金を交付した。</li> <li>・登録指導者数 48人</li> <li>・登録団員数 166人</li> <li>(合計 214人)</li> </ul> </td> </tr> </table>	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,265人</li> <li>・県民スポレク祭派遣 1回</li> <li>・開催スポーツ大会数 5回</li> <li>・開催教室数 3回</li> <li>・各種講習会・支援事業 5回</li> <li>・登山参加者 30人</li> <li>・歩こう会参加者 30人</li> </ul> <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の実施内容</li> <li>選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート</li> <li>・練習会等回数 30回</li> <li>・練習会参加者数 30人</li> </ul> <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の交付</li> <li>・登録指導者予定数 30人</li> <li>・登録団員数 200人</li> <li>(合計 230人)</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,180人</li> <li>・県民スポレク祭派遣 1回</li> <li>・開催スポーツ大会数 8回</li> <li>・開催教室数 4回</li> <li>・各種講習会・支援事業 23回</li> <li>・登山参加者(秋田駒ヶ岳) 中止</li> <li>・歩こう会参加者(むつ市川内川溪谷) 58人</li> </ul> <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の実施内容</li> <li>選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート</li> <li>・練習会等回数 34回</li> <li>・練習会参加者数 31人</li> </ul> <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団本部へ補助金を交付した。</li> <li>・登録指導者数 48人</li> <li>・登録団員数 166人</li> <li>(合計 214人)</li> </ul>
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,265人</li> <li>・県民スポレク祭派遣 1回</li> <li>・開催スポーツ大会数 5回</li> <li>・開催教室数 3回</li> <li>・各種講習会・支援事業 5回</li> <li>・登山参加者 30人</li> <li>・歩こう会参加者 30人</li> </ul> <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の実施内容</li> <li>選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート</li> <li>・練習会等回数 30回</li> <li>・練習会参加者数 30人</li> </ul> <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の交付</li> <li>・登録指導者予定数 30人</li> <li>・登録団員数 200人</li> <li>(合計 230人)</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,180人</li> <li>・県民スポレク祭派遣 1回</li> <li>・開催スポーツ大会数 8回</li> <li>・開催教室数 4回</li> <li>・各種講習会・支援事業 23回</li> <li>・登山参加者(秋田駒ヶ岳) 中止</li> <li>・歩こう会参加者(むつ市川内川溪谷) 58人</li> </ul> <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の実施内容</li> <li>選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート</li> <li>・練習会等回数 34回</li> <li>・練習会参加者数 31人</li> </ul> <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団本部へ補助金を交付した。</li> <li>・登録指導者数 48人</li> <li>・登録団員数 166人</li> <li>(合計 214人)</li> </ul>		
評価	成果	生涯スポーツ振興事業等の委託では、行政では手が回らない部分を委託することで、多彩な大会等が実施されるなど継続してスポーツ活動の場を提供することができたため、多数の町民がスポーツに親しむことができた。			
	課題等	参加者数が減少している教室や講習会など、これまで参加していなかった新規参加者を呼び込むための対策が必要である。			

30 スポーツクラブ育成事業			
点検	概要	<p>幼児から一般まで幅広い年齢層で、多様な競技を選択できるように地域に根ざした、総合型地域スポーツクラブの育成と、スポーツを通じた町の活性化を目指し、スポーツクラブを運営している（公財）五戸町スポーツ振興公社へ、スポーツクラブ強化事業、指導者育成事業、スポーツ教室開催事業分として補助金を交付する。</p> <p>・スポーツクラブのスクールコースは、サッカー（U-8、レディース）、ソフトテニス、こども運動遊び教室の3部門となっている。</p>	
	計画	<p>・事業参加者 1,500人</p> <p>・補助金の交付</p> <p>・クラブ大会出場数 30回</p> <p>・指導者育成事業 2回</p> <p>・スポーツ教室・イベント事業は生涯スポーツ事業と共催で実施する。</p>	<p>実績</p> <p>・事業参加者 1,018人</p> <p>・クラブを運営しているスポーツ振興公社へ補助金を交付した。</p> <p>・クラブ大会出場数 37回</p> <p>・指導者育成事業 2回</p> <p>・スポーツ教室・イベント事業は生涯スポーツ事業と共催で実施した。</p>
評価	成果	<p>運営組織の（公財）五戸町スポーツ振興公社に町が補助金を交付することで、公社は強化事業、指導者育成事業、イベント開催事業を展開した。強化事業では、スクールコースと育成コースの2コースを実施。育成コースではサッカー競技、バスケットボール競技のチーム活動を行い、各種大会に参加している。</p>	
	課題等	<p>スポーツクラブの事業拡大に伴う育成コースの指導者不足や少子化による会員数減少が課題である。</p> <p>また、町教育委員会では、令和4年度より「五戸町立中学校部活動の在り方に関する検討委員会」を設置し、中学校部活動の地域移行に向けた検討を開始しており、国・県等の動向及び検討委員会の意見等を踏まえながら、今後のスポーツクラブの方向性など検討していく必要がある。</p>	

31 スポーツ大会出場祝金事業			
点検	概要	<p>小・中学生のスポーツ競技力の向上と支援を目的に、予選を経て東北大会及び全国大会に出場した小・中学生の保護者及び監督・コーチに対し、出場に際する負担を軽減するため、東北大会出場者へは10,000円以内、全国大会出場者へは20,000円以内（合わせた限度額は20,000円）の祝金を支給する。</p>	
	計画	<p>・東北大会 7人</p> <p>・全国大会 4人</p>	<p>実績</p> <p>・東北大会 15人</p> <p>・全国大会 0人</p>
評価	成果	<p>出場祝金を支給することで、予選を勝ち抜いて上位の大会へ出場した小・中学生の保護者及び監督・コーチの負担を軽減することができた。</p>	
	課題等	<p>学校やスポーツ少年団、スポーツクラブ等へ、祝金制度についての周知や声かけを行い、対象者がいたら早めに申請してもらったり、申請漏れがないか確認したりする必要がある。</p>	

32 町民運動会事業				
点検	概要	町民の健康増進や親睦を図るために、全町内で自治会または地区ごとにチームを作り、子どもから老人までが参加できる様々な競技で得点を競う。唯一の全町をあげたスポーツイベントとなっている。		
	計画	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加チーム数 14チーム</li> <li>延来場者数 1,300人</li> </ul> </td> <td>実績</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加チーム数 14チーム</li> <li>延来場者数 700人程度</li> <li>※来場者数は目測による値となっています。</li> <li>4年ぶりの開催となった。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加チーム数 14チーム</li> <li>延来場者数 1,300人</li> </ul>	実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>参加チーム数 14チーム</li> <li>延来場者数 1,300人</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加チーム数 14チーム</li> <li>延来場者数 700人程度</li> <li>※来場者数は目測による値となっています。</li> <li>4年ぶりの開催となった。</li> </ul>		
評価	成果	町民運動会は、町内の全地区が参加し、スポーツを通じて地域の結団と親睦を図るとともに、三沢基地所属のアメリカ海軍チームを特別招待することで、国際交流の推進を図っている。5年度は新たに、各チームの代表者をはじめ、スポーツ推進委員及び教育委員会から成るプロジェクトチームを組織し、4年ぶりの開催を実現した。		
	課題等	近年の少子高齢化に伴い選手の確保が難しくなっているチーム（自治会）が多くなってきている。町民みんなで創りあげる運動会を目指すため、今後自治会の方々やプロジェクトチームに参加している方々の意見を踏まえ、少しでも町民が参加しやすいような工夫をしていく必要がある。		

4-3-4 スポーツ環境の整備

33 スポーツ施設の管理事業			
点検	概要	<p>ひばり野公園（陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、プール）、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター及び倉石スポーツセンターの施設を町民のスポーツ活動の場として提供しており、町民が利用しやすい施設とするために、施設管理を指定管理者に委託している。また、利用者が安全に安心して利用できるように、施設の不良箇所の修繕を行う。</p>	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひばり野公園内外トイレLED自動照明交換工事</li> <li>・倉石スポーツセンター高圧気中開閉器交換工事</li> </ul> <p>等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者数</li> <li>ひばり野公園 43,000人</li> <li>五戸ドーム 20,000人</li> <li>スポーツ交流センター 4,000人</li> <li>倉石スポーツセンター 14,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひばり野公園内外トイレLED自動照明交換工事</li> <li>・倉石スポーツセンター高圧気中開閉器交換工事</li> </ul> <p>等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者数</li> <li>ひばり野公園 48,371人</li> <li>五戸ドーム 37,036人</li> <li>スポーツ交流センター 12,341人</li> <li>倉石スポーツセンター 8,324人</li> </ul>
評価	成果	<p>ひばり野公園、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター及び倉石スポーツセンターは、（公財）五戸町スポーツ振興公社と指定管理委託を締結することで、経費の節減ときめ細かな施設の管理及び利用者の利便性の向上を図ることができた。（指定管理期間は令和4年度から令和6年度まで）</p> <p>また、予定した各種工事は予定どおり実施、施設の良い管理ができた。</p> <p>施設利用者数については、コロナ禍で中止を余儀なくされていたイベントや行事も再開できたことから利用者も多く、ひばり野公園・五戸ドーム・スポーツ交流センターは目標数値を上回る利用者数となった。</p>	
	課題等	<p>ひばり野公園は開園から30年以上が経過し、各施設や設備の老朽化が進む中で各個改修を進めている状況である。令和8年度には青森国スポサッカー競技の一部がひばり野公園で実施される予定であることから、財政担当課や関係機関と協議し計画的な予算措置が必要である。</p> <p>その他施設設備の突発的な故障にも対処が必要となっている。</p>	

### 施策4-3 総括的評価

住民がそれぞれの年齢、趣味、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、指導者の育成や施設・設備の改修等、安全に利用できる環境づくりを進めているか、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流機会となるよう、気軽に参加できる機会づくりに努めているか、及び住民が自身の健康づくりの一環として行うことができる年齢層に応じた生涯スポーツの普及促進に努めているか、関連する6事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

### 点検・評価助言委員の意見

#### 28 スポーツ推進委員事業

- 課題等は昨年度と同様のため、情報共有する場の設置を具体的に計画に盛り込んでみてはどうでしょうか。
- スポーツ推進委員と各事業担当事務局との連携を図り、広く町民が参加できる事業を展開していただきたいと思います。

#### 29 生涯スポーツ振興事業等委託事業

- 参加者数が減少傾向なので、各種大会・教室等を従来通りではなく、広く町民が参加しやすいやり方を企画・運営していくことが大切だと思います。

#### 30 スポーツクラブ育成事業

- 中学校部活動の地域移行について、取組の動きなどの文言を昨年度課題等の中に盛り込んでいただきましたが、今回の報告書では、その具体的動きについて、計画や実績があれば記載したらどうでしょうか？
- 中学校部活動の地域移行に際し、スポーツクラブの役割も重要と思いますが、全ての競技に対応することは難しいので、各スポーツ団体や他町村のクラブとの連携も視野に入れることを考えたらどうでしょうか。

#### 31 スポーツ大会出場祝金事業

- 保護者や監督・コーチの負担軽減とともに小・中学生自身のやる気にも繋がっていると思うので、これからも続けてほしいと考えます。

#### 32 町民運動会事業

- 5年度は新たな種目を取り入れ、町民が参加しやすい工夫に取り組んでいることは大変良いことだと思います。

#### 33 スポーツ施設の管理事業

- 「評価」の項目の「成果」は、施設管理者の視点で記述することは当然ですが、できればその中にアンケート等で把握できた利用者の声の中で特に多く上げられた内容を記載していただくと、より幅のある評価ができると思います(利用者数の多さの視点以外も重要と考えます)。
- スポーツ施設に小渡平公園も入れてもらえませんか？

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-4 地域文化

- 本町の自然、歴史、文化等の郷土に関する文化財の保護に努めるとともに、先人が残した郷土の貴重な文化財を地域資源として有効活用できるよう保護体制の充実を図ります。
- 学校教育・生涯学習活動を通じて、地域の文化や歴史に対する住民の関心を高める取り組みを推進し、町内の地域文化と郷土芸能を後世に残す取り組みを支援します。

#### 【4-4-1 保存団体、指導者の育成】

34 文化まつり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 2

#### 【4-4-2 文化財の保存活動の推進】

35 町文化財管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 3

36 伝統芸能継承活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 3

#### 【4-4-3 文化財の活用】

37 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業・・・・・・・・・・・・ P 4 4

38 この〜郷土館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 4

施策4-4総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・ P 4 5

4-4-1 保存団体、指導者の育成

34 文化まつり事業											
点検	概要	文化活動を行っている団体、個人が、公民館を会場に発表を行う。									
	計画	・参加団体数 50団体	<table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>出展、出店団体数</td> <td>36団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>芸能発表団体数</td> <td>10団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計参加団体数</td> <td>46団体</td> </tr> </table>	実績	出展、出店団体数	36団体		芸能発表団体数	10団体		計参加団体数
実績	出展、出店団体数	36団体									
	芸能発表団体数	10団体									
	計参加団体数	46団体									
評価	成果	<p>文化まつりは、町民の日ごろの活動成果を発表したり親しんだりする貴重な機会で、令和5年度はコロナ禍前の状態で開催することができた。</p> <p>また、出展やステージ発表も内容が充実としており、産業まつりと同時実施だった兼ね合いで多くのお客様に来場いただいた。</p>									
	課題等	<p>開催にあたっては、出展側のニーズを踏まえたうえでさらに訪問客が利用しやすいように計画するかが問われている。</p> <p>ステージ発表の団体数や構成も含め工夫していきたい。</p>									

4-4-2 文化財の保存活動の推進

35 町文化財管理事業			
点検	概要	町所有の文化財の整理作業を実施するため、専従職員3名体制とし、未整理文化財の整理作業を行う。関係機関やボランティア（文化財保護審議委員）の協力を得て未整理文化財調査を行う。開発等に伴う遺跡調査を実施し、遺跡の適切な保存に努める。文化財関係資料の貸出等に対応し、町内文化財の周知に努める。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>未整理文化財調査日数 10日</li> <li>町有文化財環境整備回数 2回</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>未整理文化財調査日数 24日</li> <li>町有文化財環境整備回数 2回（腐朽菌防除、草刈）</li> </ul>
評価	成果	町文化財の整理成果を周知することにより、町民及び県内外の関係者への町の歴史理解に寄与した。 町関係の文化財寄贈に対応し、受入れ及び整理作業を実施した。弘前大学及び町文化財保護審議委員の協力を得て、古文書及び江渡狄嶺関係資料の資料調査を実施した。 県指定天然記念物「わむら（上村）のカシワ」の腐朽菌防除、町指定文化財「大学沢の追分石」周辺草刈作業を行い、適切な管理に努めた。 埋蔵文化財、写真等資料の貸出により町内の文化財の魅力を発信することができた。 開発等に伴う遺跡調査等は、該当開発等が無かったため未実施である。	
	課題等	既存の未整理の文化財に加えて、近年は文化財の寄贈申し入れの事例が増えているため、今後も継続的に事業を実施する必要がある。 天然記念物（樹木）については、定期的に枝折れ、倒木等の危険がないか確認する必要がある。また、各種新規指定文化財候補の調査等を積極的に行い、文化財の保存活用に努めることも必要である。	

36 伝統芸能継承活動事業			
点検	概要	小学生に対し、伝統芸能に触れる機会をつくとともに、継承活動を進める。学校で行う伝承活動について、必要に応じて指導者への謝金や道具の修繕などの支援をする。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導回数 40回</li> <li>発表回数 3回</li> </ul>	実績 五戸小学校の児童が和太鼓（五戸太鼓）を通常は月2回程度、長期休暇等は月5回程度の活動を行っている。発表については1回（学習発表会）行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>指導回数 35回</li> <li>発表回数 1回</li> </ul>
評価	成果	伝統芸能継承活動は、小学生の伝統芸能への理解に寄与した。 また、地域の子どもに伝統芸能の指導が行われることで伝統芸能の普及発展に寄与した。	
	課題等	児童数の減少や習い事の増加等によって伝統芸能を実践する児童が減少している。五戸小学校の協力を得ながら、参加者数の増加に努める取り組みが必要である。	

4-4-3 文化財の活用

37 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業			
点検	概要	青森県重宝に指定されている「旧圓子家住宅」の管理及び見学者への公開を行うことにより、文化財保護への理解を深め、五戸町の歴史を後世に伝えていく。 会計年度任用職員1名を雇用して管理・清掃を行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理実施日数 70日</li> <li>見学者数 50人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理実施日数 70日</li> <li>見学者数 86人</li> </ul>
評価	成果	見学者への公開によって町民の郷土史理解の深化に寄与した。 パンフレットを活用し、町内外へ当該文化財を周知することができた。 消防設備点検を実施し、法令に基づき保存環境の適正化を推進した。	
	課題等	文化財である旧圓子家住宅の保存と有効活用を両立させるため、適正な管理と文化財的価値の周知を効果的に実施することが課題である。	

38 ごのへ郷土館管理事業			
点検	概要	旧豊間内小校舎を活用した「ごのへ郷土館」を指定管理者と協力して施設の維持管理や活用に努める。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>式典 1回</li> <li>利用者延べ人数 10,000人</li> <li>特別展示及び体験イベント 2回</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>式典 1回</li> <li>利用者延べ人数 16,516人</li> <li>特別展示及び体験イベント 3回</li> </ul>
評価	成果	指定管理者が中心となり、6月25日に開館5周年式典を実施した。 特別展示は6月～9月に教育課の企画で企画展「新聞で振り返る十勝沖地震」を行った。また、2月～3月に特別展「生活の美 菱刺し」を企画し、見学者の増加に努めた。指定管理者事業である伝統工芸体験イベントは開館5周年記式典に併せて実施した。 DC351プラットフォーム完成の効果や指定管理者の自主事業（館長講座、小正月行事等）の実施もあり、利用者延べ人数は計画数を上回ることができた。	
	課題等	今年度は開館6年目となり、DC351の話題も徐々に少なくなってきた。この様な状況の中でも利用者数の維持増加を図るため、指定管理者と協力して展示替えや特別展示の実施、SNS等を活用した広報を積極的に実施することが求められる。 管理については、指定管理者と情報を共有し、適切な管理、施設の有効利用に努める必要がある。	

#### 施策4-4 総括的評価

本町の自然、歴史、文化等の郷土に関する文化財の保護に努めるとともに、先人が残した郷土の貴重な文化財を地域資源として有効活用できるよう保護体制の充実を図っているか、及び学校教育・生涯学習活動を通じて、地域の文化や歴史に対する住民の関心を高める取り組みを推進し、町内の地域文化と郷土芸能を後世に残す取り組みを支援しているかについて、関連する5事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

#### 点検・評価助言委員の意見

##### 34 文化まつり事業

- 産業まつりと同時実施など、これからは開催日時の工夫も必要かもしれません。開催にあたっての出展者側のニーズの把握はどのような手立てを進めていく予定がありますか？
- 高齢化が進む中、これだけの参加団体を維持しているのは、素晴らしいことだと思います。

##### 35 町文化財管理事業

- 報道にも見られたように古文書の解読の成果等を発信する場の設置も今後必要になってくるのではないのでしょうか？その場の活用によって、町民の文化財に対する意識が高まってくるのではと思います。
- また、小学校の中学年で社会科学見学にこのような場所の見学する機会とかはありますか？もし、ないのであれば、是非、そのような機会を学校と調整して実施していただければ子供たちが地域の文化財を大切にする意識も高まると思います。
- 未整理文化財調査日数が、計画では10日に対して実績では24日と倍以上となったのは何か理由があるのでしょうか？

##### 36 伝統芸能継承活動事業

- 今後、学校部活動の位置づけから地域の活動への移行することが必要と考えます。学校・指導者の意見としてどのような声が上がっているのでしょうか？それを事業の課題克服に生かしていただきたいと思います。
- 伝統芸能の定義にもよりますが、「五戸まつり」を本事業の一つとして位置付ける考え方はどうでしょうか？

##### 37 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業

- 町民大学講座での活用はできたのでしょうか？もし、活用できたのであれば、その成果等をお知らせ下さい。
- 実績において、見学者数が4年度32人から5年度86人と増加していることは素晴らしいことだと思いますが、何か対策をとったのでしょうか？

##### 38 ごのへ郷土館管理事業

- 小中学生対象にする講座の実施の成果はどうだったのでしょうか？。指定管理者と情報共有に対し、具体的にはどのような手立てを進めているのでしょうか？
- 4年度に引き続き5年度も利用者延べ人数が計画数を上回っていることは素晴らしいと思います。特別展示等を工夫しながら利用者数増につなげてほしいと思います。

## 参 考 資 料

### ◇児童生徒数の推移

学校名	R 3年度 児童生徒数 (人)	R 4年度 児童生徒数 (人)	R 5年度 児童生徒数 (人)	R 6年度 児童生徒数 (人)	R 6年度 学級数 (学級)
五戸小学校	376(15)	361(17)	357(15)	357(17)	16( 4)
切谷内小学校	57( 5)	54( 5)	50( 6)	52( 7)	6( 2)
上市川小学校	95( 1)	81( 1)	78( 2)	78( 2)	7( 1)
倉石小学校	83( 2)	81( 2)	76( 2)	71( 3)	8( 2)
小学校計	611(23)	577(25)	561(25)	558(29)	37( 9)
五戸中学校	192( 3)	190( 7)	192(15)	186(16)	9( 3)
川内中学校	69( 2)	84( 2)	76( 3)	75( 5)	5( 2)
倉石中学校	51( 2)	44( 2)	51( 3)	46( 1)	4( 1)
中学校計	312( 7)	318(11)	319(21)	307(22)	18( 6)
合 計	923(30)	895(36)	880(46)	865(51)	55(15)

※ ( ) は、特別支援の数 (内数)

### ◇令和5年度 教育委員会開催状況

R 5. 4.13 第1回 定例会開催	R 5.10.27 第7回 定例会開催
R 5. 5.25 第2回 定例会開催	R 5.11.21 第8回 定例会開催
R 5. 6.29 第3回 定例会開催	R 5.12.20 第9回 定例会開催
R 5. 7.21 第4回 定例会開催	R 6. 1.26 第10回 定例会開催
R 5. 8.29 第5回 定例会開催	R 6. 2.28 第11回 定例会開催
R 5. 9.27 第6回 定例会開催	R 6. 3.29 第12回 定例会開催